

～放置竹林の解決に向けて～

龍谷大学政策学部洲本プロジェクトでは、地域資源を用いて兵庫県洲本市の課題解決に取り組んでいます。

その中でも私たちは産業おこし班に所属し、洲本市内の放置竹林問題を解決するため、新たな竹の消費方法、及び産業の創出として**淡路産メンマ**の開発をしています。

海と山には密接なつながりがある



私たちは洲本市を拠点にSDGsの目標 **14.2 15.4 17.17** に該当する活動を行っています。

私たちの活動

域学連携として元地域おこし協力隊の方、竹林所有者、水産加工会社の方々、洲本市と連携し活動しています。2019年度は学生視点の斬新で話題性のある**アメ～ンマ**（シュガー味）と**やみつきメンマ**（ごま油ピリ辛味）を提案しました。

9月22日に地域おこし協力隊卒業発表会にて試食・アンケートを行いました。より美味しく食べやすいように改良し将来的には**商品化**を目指しています。



洲本プロジェクト 産業おこし班メンバー

メンマ作りから始まる協働

学生は幼竹刈り・塩抜きメンマの味付け・試食会・竹林整備に関わっています。



実は関係性のあるメンマと海

山の手入れの怠り

- ・管理者減少により手入れが行き届かない

放置竹林

- ・竹は繁殖力が強く山の生物多様性も減少する

竹を有効活用

- ・地域資源として活用することで竹を消費する

達成されること

- ・山から養分が流れ海に活気が生まれる
- ・山の生物多様性が守られる
- ・地域にお金が落ちる新たな産業になる

●淡路産メンマ

- ・淡路島の竹林でとれた幼竹を使って国産メンマを作る

●竹チップボイラー

- ・洲本市の温泉施設ゆ～ゆ～ファイブでチップにした竹を燃料として使用
- ・熱を地産地消

メンマにこだわるわけ

- ・現在販売されているメンマは**99%**が輸入品
- ・つまり国産メンマは**高い価値**がつく
- ・国産メンマが産業になれば全国で課題となっている**放置竹林の解決**や**特産品づくり**につながる

産業おこし班のこれから

- ・竹林整備は年に数回行う必要がある
- ・幼竹を刈り、冬季に竹の伐採を行う
- ・それにより**次の筍**が育ちやすくなる